

# 新春講演会

期日:平成 16年 1月 9日(水)  
会場:名古屋市国際会議場  
＜講演会＞白鳥ホール  
＜賀詞交換会＞イベントホール  
講師:ユニー株式会社 西川特別顧問



## 時代の大転換期を生きる

### ～立志の経営～

青経塾 2004年は、「大きな時代の変化が、中小企業にとってのチャンスととらえ、挑戦していく年にしたい」という川本塾頭の挨拶で幕を開けた。

続いて、「時代の大転換期を生きる～立志の経営～」のテーマのもと、ユニー株式会社 西川特別顧問の情熱溢れるご講演を頂いた。

15年前のPドラッカー(米国・経営学者)による「未だかつて経験したことのない歴史が始まる」という予測は、西川特別顧問さえも、当時は想像すらできなかった。その予測が現実となった今、西川特別顧問は、衝撃的な一言を聞くことになる。

30兆円企業のウォルマート社の「当たり前のことを着実に実行してきた結果が我々の現在ある姿だ」という一言。

「一人一人のお客様にどれだけ惚れ込んで尽くすか。どれだけ心の種を蒔くのか。この積み重ねがまさしく成長の原点なのである。企業規模は関係ない」と、ウォルマート社の現在の姿に、西川特別顧問は想いを強く重ねられる。

### グローバルの時代

ボーダレス時代の今、情報はあらゆる所から発信され、通信、技術は急激に発達。大切なことは、企業はこの変化を素直に受け入れながら、自社分析し戦略を間違えてはならない。そして、地元の環境に置き換えて適応しなければならない。つまり、グローバルな情報を受けてローカルに徹すること。(=グローバル)それには、『謙虚さ』(おごらない)、『素直さ』、『感謝』の3つの心が源流となり自分の道を徹底し、当たり前のことをどれだけ着実にできるかが基盤。西川特別顧問の言われるその3つの心と経営の三感王『危機感』、『存在感』、『責任感』とがプラスされ、はじめて今日のユニー株式会社の繁栄があるのだ。



### 挑 戦

講演の最後には「宇宙の無限と同じ様に、愛と感謝も無限である。果てしないこの荒野に向かって若さを駆使し、とことん勇気をもって進んで行って欲しい」と、メッセージを頂戴した。「人間の能力の差は2倍、3倍しか違わないが、想いの差は200倍300倍も違う」という木野村副塾頭から教えて頂いた言葉が響鳴した。この響鳴は、塾生の心の中にある「挑戦」という言葉を奮い立たせ、青経塾生なら行動し結果が出せるに違いないと感じた。



### 青経塾生だからこそ

西川特別顧問の腹の底から、マイクが不要とさえ思える声で、「何故生きているのか。小さな哲学でいいから考えなさい」とお言葉を頂いたその一瞬に、ふと、我に帰った塾生は数多いだろう。塾主と同じ想いを伝えて頂いたと感じずにはいられない。「人間主義」と言う言葉が塾生の心の中に響き渡った。まさしく、立志の経営である。

(27塾 上野秀明)

